

令和2年5月29日

校長通信 その5 ～学校再開にあたって～

長い休校もやっと終わり、授業が再開します。3月2日から、途中数日間の授業日を挟んでの実質約3か月間の自宅学習期間を自律的に乗り切ってくれたことに感謝します。さて、前回も書きましたが、今後の授業では、学習の遅れを取り戻すことを目的として、家庭で皆さんが一人で取り組めることには自宅で取り組み、授業では教員とクラスメートがいけないとできない活動を中心に進めていくこととなります。また、長期休業等の短縮により、補習授業の実施が困難になることから、これまで以上に授業の重要性が増してくるということ意識して授業に臨んでください。

令和4年度から実施される新しい学習指導要領総則編解説の冒頭部分には次のように書かれています。「そうした予測困難な時代を迎える中で、(中略)学校教育には、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め、知識の概念的な理解を実現し、情報を再構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができるようにすることが求められている。」今回のコロナ禍で、私たちは、当たり前だと思っていたことが突然当たり前ではなくなることがあると思い知らされました。段落の冒頭に「令和4年度から」と書きましたが、現在高校生である皆さんも「変化に向き合うこと、協働して課題解決に取り組むこと、情報を精査し再構成して新たな価値につなげること、状況変化に応じて目的を再構築すること」ができるようにならなければいけないということが明らかになったのです。これらのことができるようになるためには、各教科・科目に自分で「要・不要」の判断をせず、幅広く学んで知識の引き出しを増やし、必要な時に複数の引き出しを開いて活用できる力、社会で課題となっていることを自分事として捉える力を高校生の間につけ、次のステップに繋げていってほしいと考えています。

舟入高校の校木であり校歌にも歌われている「アカシア」の木、校内のどこにあるか知っていますか？実際には「ニセアカシア」と呼ばれる種類ではないかと思うのですが、そろそろ白い花をつけるはずです。花言葉は「友情」「頼られる人」。感染予防の観点から物理的な距離を詰めることはできないけれど、学校が再開してクラスメートとの心の絆を深める機会は増えるはず。本格的なスタートは少し遅れましたが、かけがえのない友情を育みつつ、「ひとすじに」「理想に生き」ていきましょう。



今日のひと言：感染予防と学習目標の到達と仲間づくりと、すべての実現を目指そう。